



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和6年 4月10日

【文責】校長 蔦川 誠

令和6年度がスタート

新入生75名を迎え、全校生徒245名で令和6年度の長者中学校がスタートしました。今年度も子どもたちの健やかな成長を目指して、保護者の皆様と教職員が同じ方向を向いて連携・協働することによって、よりよい教育活動を推進して参りたいと考えております。今年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校の長い歴史の中で昭和51年度に制定された校訓「探究・創造・協力」は、「生徒の三つの力（知・徳・体）が調和して実るように、広く・深く探究し、創造を目指して協力・実行する」という基本方針のもとに設定されました。校訓に込められた思いを基底に、学習指導要領が目指すところを踏まえて、「教育目標」「努力目標」を以下のように設定しています。

今年度の学校目標についても説明いたします。学校目標とは当該年度1年間で達成に向けて取り組む具体的な目標です。昨年度までの成果と課題を基にして決めています。今年度の学校目標は、昨年度に引き続いて課題の解決を目指し、主体的・対話的に学び、協働する生徒としました。学校目標の具現化のために本校の教職員が生徒一人一人のよさや頑張りを認めて、生徒の夢や希望の実現に向けて、その能力を引き出すよう努めて参ります。

校 訓 探 究 創 造 協 力

教 育 目 標

【教師：～を目指す】

- 一 確かな知性の育成
- 一 豊かな心や個性の伸長
- 一 調和的な心身の発達

努 力 目 標

【教師：～の育成 生徒：～になろう】

- 一 自ら求め、考え、表現できる生徒
- 一 人の立場や意志を尊重できる生徒
- 一 心身ともに明るくたくましい生徒

令和6年度

学 校 目 標

課題の解決を目指し、主体的・対話的に学び、協働する生徒

〔重点施策〕

- ① 学ぶ目的を明確にもつことにより、主体的・対話的に課題解決に向かう学習の充実
- ② 個の成長及び集団の向上を目指し、協働して新たなものを創り出す取組の推進
- ③ 集団の中での役割を自覚し遂行することにより、自己有用感を得る活動の促進
- ④ 地域の一員であることの自覚をもち、社会に貢献する活動の実践

通信のタイトル「文武両輪」に込められた意味は？

昨年度に引き続いて今年度も校長通信のタイトルを「文武両輪」[ぶんぶりょうりん]、サブタイトルを「～勉強も行事も部活動も～」にしました。このタイトルには、子どもたちが文（勉強）も武（行事と部活動）も精一杯に取り組むことで、それぞれ「文武両輪」の花を咲かせてほしいという強い願いが込められています。長者中生一人一人が、文武両面でそれぞれの花を咲かせる（大きな成果を上げる）ことを期待して、このタイトルとしています。